



ログレベルの設定

このセクションでは、次の点について説明します。

- [ログレベルの設定 \(1 ページ\)](#)

ログレベルの設定

この章では、Cisco Prime Collaboration Assurance でサポートされているさまざまなログレベルに関する情報を提供します。

ログレベル

Cisco Prime Collaboration Assurance は次のログレベルをサポートしています。

- デバッグ - アプリケーションのデバッグに使用します。
- 情報：アプリケーションの進捗状況を示します。
- 警告：害を及ぼす可能性がある状況を示します。
- エラー：アプリケーションが引き続き実行可能であることを示します。
- 深刻：深刻なエラーを示します。このレベルは、すべてのモジュールでリストされるわけではありません。

ロギングを無効にすることはできません。ただし、次の作業を実行できます。

- 必要に応じて、ログレベルを上げ、さらに多くのデータを収集する（最も高度なレベルは [Debug]）。
- デフォルト ログレベル ([Error]) に戻す。

ログレベルの設定は、[ログの管理 (Log Management)] ページ（の順に移動）から変更できます。[システム管理 (System Administration)] > [ログの管理 (Log Management)]。ログファイルはバックアップファイルにも含められます。



注意 ログレベル設定を変更する場合は、必ず Cisco Technical Assistance Center (TAC) チームにお問い合わせください。

ログのダウンロード

この機能では、ログファイルのダウンロードを有効にして必要なログを共有できるようにして、ネットワークの問題を迅速に解決するための情報を提供します。

前提条件 : ログを収集するモジュールで、ログレベルを**デバッグ**に設定する必要があります。ログレベルを [Debug] に設定する方法については、前述の項を参照してください。

ログをダウンロードするには [**ログのダウンロード (Download Log)**] ボタンをクリックします。 .tar ファイルをダウンロードするよう要求されます。ファイル名は、 (tar.) ファイルが生成された日時を示すため、ログファイル、日付、タイムスタンプ (Cisco Prime Collaboration Assurance のサーバタイムに基づく) を生成したユーザのユーザ名を示します。ログファイルを表示するには、この同じ名前でもファイルを開くか、または解凍します。ログファイルは圧縮ファイルで、7-Zip などの解凍ユーティリティで開くことができます。